



港のしるしと中央の丘をもって、安政五年通商条約により指定された五港を意味し、これに省垣を頂かせて五港の一つ新潟をあらわす

各会計別予算額

(単位：万円)

一般会計	17,020,000	国民健康保険・土地区画整理・下水道・中央卸売市場・と畜場・土地取得・老人保健・工業用地開発
特別会計	9,102,970	
病院事業会計	1,524,068	
水道事業会計	1,196,918	
合計		28,843,956

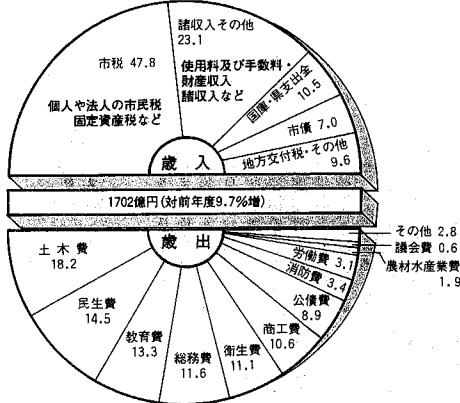


図1 一般会計予算の内訳

今年三月から開催されていた三月定例会市議会にて、一般会計、特別会計、病院など企業会計を合わせた総額二千八百八十四億三千九百五十六万四千円の内、そのほら平成五年度新潟市予算が二十六日に議決されました。長谷川市長の任期も折返点を過ぎ三回目の予算編成となった当初予算は、厳しい財政環境の中、長期的な視点に立って本市の発展と市民福祉の向上に向け、新規の施策を構想し既存の施策を拡充させるなどの工夫をこらしたものがとなっており、一般会計において前年度当初比九・七％の増と積極的な予算となりました。

この特異号では一面に一般会計予算の歳入と歳出の内訳を図1、歳出を目的別に市民一人当たりで見たいものを図2、平成五年度完成・着工・計画開始される重要施策を新潟市域に表わしたものを図3として示しました。また、二十四面では事業の概要を第三次総合計画の五つの都市像によって分類紹介し、その下段では新規・拡充などを中心とした主要事業と概算費用を項目で紹介しています。

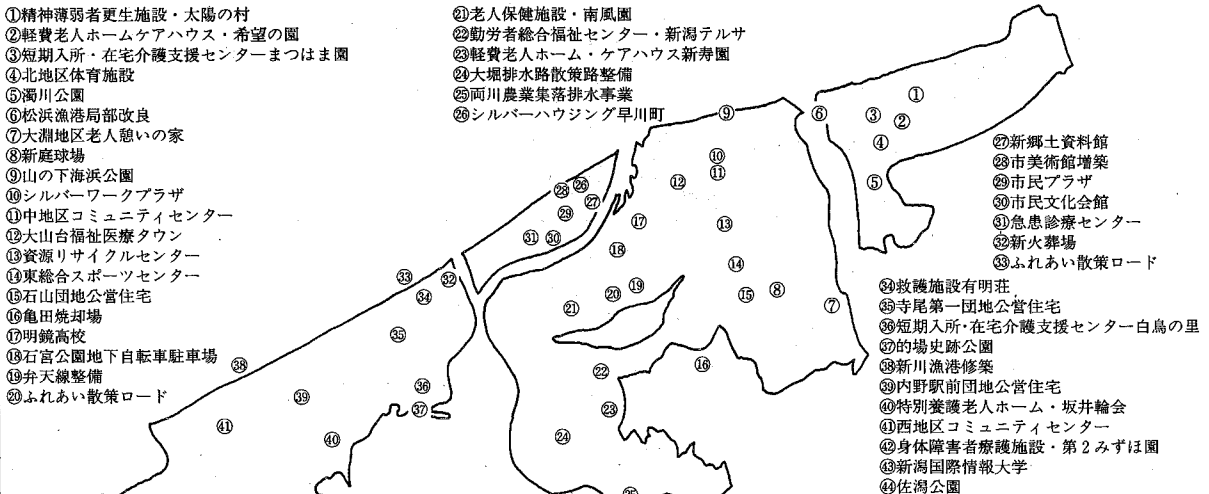
図2 市民1人当たりに使われるお金 354,072円

平成5年度
一般会計



人口は2月末住民基本台帳による 480,692人

図3 平成5年度完成・着工・計画開始される重要施策



福祉向上と快適な環境づくり 新年度予算スタート